

## 平成22年度 事業報告書

### 1. 文化に関する各種の公演、講座等

#### (1) グランプリ・コンサート 2010 (財)日本室内楽振興財団と共催

第6回大阪国際室内楽コンクールのフェスタ部門の優勝者、モスクワ・クアルテットを招聘 メンバーはロシアの芸術家としては最高の称号である「ロシア人民芸術家」や「ロシア功労芸術家」を有する実力派 演奏曲目はブダーシュキンの四重奏コンチェルト他 10曲 繊細な感覚が生き生きと発揮され、民族楽器の極致をみせた 「ロシア音楽メドレー」では日本でも馴染み深い7曲のロシア民謡を演奏し聴衆を楽しませた

全国10箇所の公演のうち東京公演を担当

(平成22年11月12日 ヤマハホール)

#### (2) 天平楽府と聲明 主催

奈良・正倉院に収蔵される古典楽器を復元し、それらを用いて古典雅楽を奏でるアンサンブル「天平楽府」と、真言宗・天台宗の「聲明」の共演で、今回が6回目の開催 かつて古代シルクロードの国々で演奏され、唐の時代に日本に伝わった名曲の数々を、訳譜した敦煌琵琶譜をもとに神秘的かつ華やかに再現した 大型スクリーンを用いて、正倉院が所蔵する当時の楽譜や楽曲の歴史的背景も紹介 僧侶たちが経本を翻しながら朗々と唱える「般若心経」は圧巻で、1000人を超える聴衆が大きな感動に酔いしれた

(平成23年1月7日 東京文化会館大ホール)

#### (3) 「想いでの詩」コンサート 主催

想いでの詩コンサート第4弾 叙情歌や童謡を中心に、世代やジャンルを超えて歌い継いでほしい楽曲で構成 美しい詩を通じて、日本人の思いやりや日本の自然の美しさを改めて見直すコンサート 今回はロシア音楽の第一人者「岸本力」と天平楽府主宰「劉宏軍」(笛)が日本の歌で競演 ソプラノ歌手や少年少女合唱団、二胡の演奏も交えながら懐かしい名曲の数々を披露した

出演は岸本力、劉宏軍、杉本恵津子、木村綾子、張艶、FCT郡山少年少女合唱団

(平成23年3月5日 浜離宮朝日ホール)

(4) 言葉の寺子屋～中学生からの俳句塾 主催

美しい日本語を次世代に伝承することを目標に立ち上げた新規事業で、中学生以上を対象とした、基礎から学べる俳句講座 俳句を通じて日本語への関心と日本語能力を高めると同時に、四季の情景を楽しむ感性を育む 講師に俳人の權未知子氏を迎え、毎月2回、全9回の連続講座を半年に渡って開催した 第一期生は中学1年生から72歳までの計28名 毎回様々なテーマで多くの句を詠み、クラス句会でお互いの句を論じ合った

2. 文化に関する事業、活動への助成

(1) 「高円宮杯全日本中学生英語弁論大会」に対する助成

日本の青少年を国際性豊かに育成することを目的とした上記大会への助成  
主催は読売新聞社、日本学生協会基金

(2) 国際日本語普及協会の教材開発及び教育支援活動に対する助成

日本に住む外国人支援のための日本語教育相談窓口の充実を目指した諸活動に対する助成